

取扱説明書

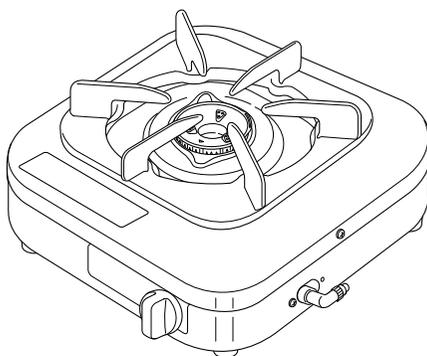
1口ガスコンロ

家庭用

保証書付

品名

KG-12C
RTE-10C
RTS-1NDC



ご愛用の皆様へ

- このたびはリンナイ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style(<https://www.rinnai-style.jp/>) または、お買い上げの販売店にてお買い求めください。



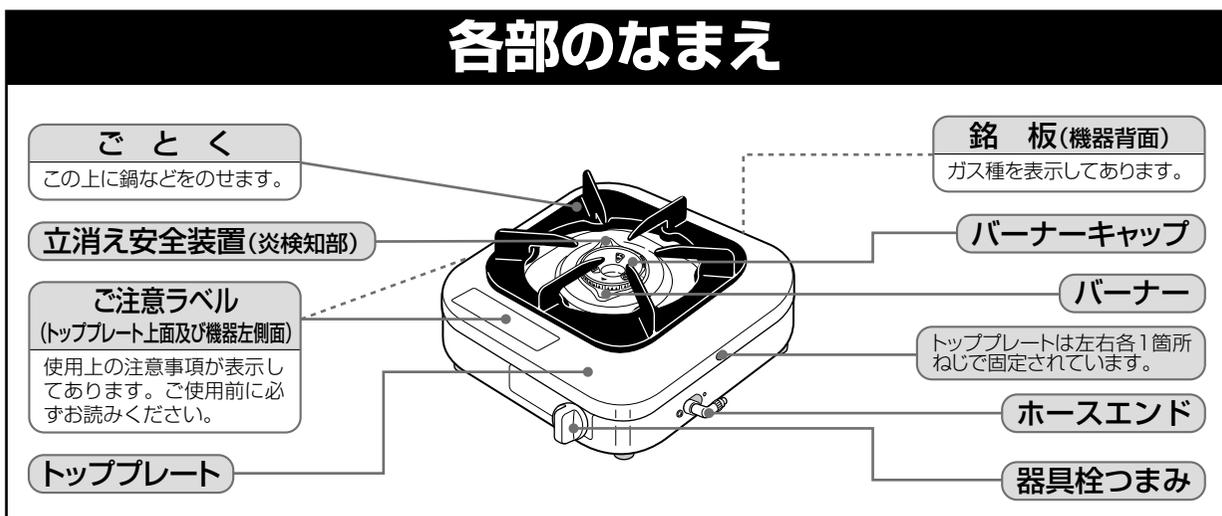
1NDA-35A(00)
220700 ©
(工場管理) 06000005173100

Rinnai

もくじ

各部のなまえ	1
安全上のご注意 (必ずお守りください)	2~5
機器の設置	6
使いかた	7
立消え安全装置について	7
日常の点検とお手入れのしかた	8
故障かな?と思ったら	9
長期間使用しない場合	10
アフターサービス	10
仕様/寸法図	10
保証書	裏表紙

各部のなまえ



安全上のご注意 必ずお守りください

〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書および製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な説明がしてあります。

●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	 換気必要
 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	 火気禁止	 接触禁止
		 分解禁止

⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する

- ①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
(ガス栓つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)
- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ③もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

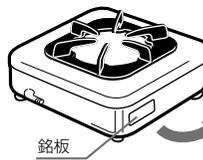


ガス栓を閉める
(ガスコンセントからソケットをはずす)

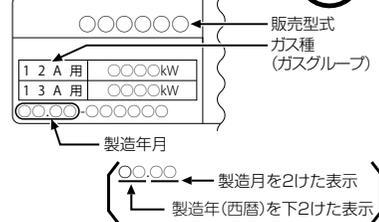
⚠ 警告

■機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)以外のガスでは使用しない

表示のガス種が一致していない場合、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、異常点火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。わからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にお問い合わせください。転居されたときも、ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。



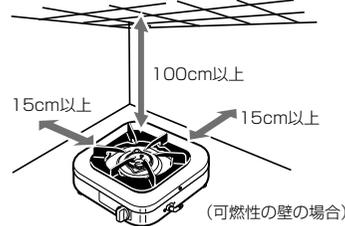
〈例〉12A・13Aの場合



■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

距離が近いと火災の原因になります。(火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。)可燃物との距離が守れない場合は必ず別売の防熱板を取り付けてください。また表面がステンレスやタイルでも壁の内部が可燃性の場合は必ず防熱板を取り付けてください。

■設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す



(可燃性の壁の場合)

■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になります。



分解禁止

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

■揚げもの調理には使用しない

調理油の温度が高くなり発火するおそれがあります。



■機器の上や周囲にはペットボトル、調理油、スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど燃えやすいものを置かない

■機器本体の下に新聞紙やビニールシートなどの燃えやすいものを敷かない

■電源コードを通さない

熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発したり火災の原因になります。



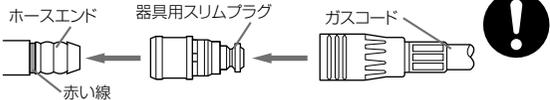
■機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない

引火して火災の原因になります。



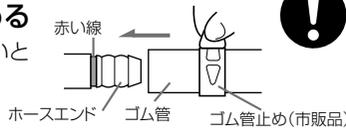
■ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する

「ガスコードなどでコンセント接続する場合」を参照してください。間違った接続はガス漏れの原因になります。



■ガス用ゴム管 (ソフトコード) は赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める

しっかりと止めないとガス漏れの原因になります。



■ガス接続口に汚れやゴミがないようにする

ガス漏れの原因になります。



■ガス用ゴム管 (ソフトコード)、ガスコードは高温部に触れたり、折れたり、ねじれた状態で使用しない

■ガス用ゴム管 (ソフトコード)、ガスコードは機器の下を通したり、炎に近づけない

■他の機器で加熱されるような所にも通さない

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因となります。



■地震、火災、または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用中で消火した場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉める (つまみのないガスコンセントの場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)

「故障かな?と思ったら」に従い処置をする。



■火をつけたまま離れたり、外出、就寝をしない

調理中のものが異常過熱し火災の原因になります。電話や来客、その場を離れる場合は必ず消火してください。



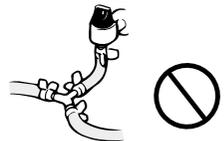
■ガス用ゴム管 (ソフトコード) を使用する場合は検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、ひび割れたゴム管、古いゴム管は使用しない

ガス用ゴム管以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。またガス用ゴム管はときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。



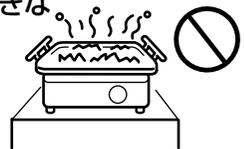
■ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない

ガス漏れの原因になります。



■コンロをおおうような大きな鉄板や鍋は使わない

一酸化炭素中毒のおそれがあります。



■機器に付属または機器指定以外の補助具 (アルミはく製する受け、省エネごとくなどの補助具) は使わない

一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。



■焼き網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。



安全上のご注意 必ずお守りください

警告

■ガスコードの長さが合わない為に高温部に触れたり、機器の下を通したり、機器に触れたりする場合はガスコードを使用しない

ガスコードが過熱され、ガス漏れの原因になります。



■使用中は身体や衣服が炎に近づかないように注意する

衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。鍋を動かすときは注意してください。



■火がついたまま持ち運ばない

火災、やけどの原因となります。



■使用時の点火、使用後の消火を確認し、ガス栓を閉める

消し忘れによる火災の原因になります。機器から離れるときは必ず消火を確かめてください。



注意

■点火操作時や使用中はバーナー付近に顔を近づけ過ぎない

炎や熱で顔をやけどするおそれがあります。



■コンロ使用中、使用直後しばらくはトッププレートに触れない

高温になっていますのでやけどをする原因になります。



接触禁止

■トッププレートが確実に取り付けられているか確認する



■衣類などの乾燥や練炭の火起こしなど調理以外の用途には使用しない

衣類が落下し火災や過熱・異常燃焼による機器焼損の原因になります。



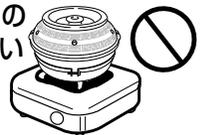
■使用中、使用直後は器具栓つまみ以外は触れない

やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいらっしゃる家庭ではご注意ください。



■コンロには石焼いもつぼなどの空焼きをする調理具は使用しない

異常過熱による機器損傷の原因になります。



■点火操作をしても点火しない場合は器具栓つまみを消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



■点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。



■やかん、鍋などの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強いとやかんや鍋などの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。



■使用中は換気をする

使用中は窓を開けたり換気扇を回すなど換気をしてください。換気をしないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



換気必要

■水平で安定性のよい丈夫な台の上に設置する

不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがのおそれがあります。



注：ただし、屋内設置で自然排気式給湯器およびふろがまを使用している場合は換気扇を回さず窓などをあけて換気してください。燃焼排ガスが逆流することがあります。



安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

■ 機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障のおそれがあります。



■ 強い風の吹き込むところには設置しない

点火不良や機器内部の焼損、安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。



■ 棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない

機器の上に落ちた物が燃えて、火災の原因になります。



■ ごとくをはずして鍋などを直接コンロに置いて使用しない

不完全燃焼や機器焼損の原因になります。



■ 照明器具など樹脂製品の下へ設置しない

照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。



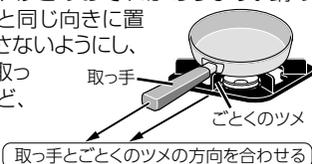
■ 幼い子供には触れさせない

やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。



■ 片手鍋や小径鍋、へこんだ底・丸い底・滑りやすい底の鍋は不安定な状態で使用しない

鍋が傾いたり、滑ってやけどのおそれがあります。鍋の取っ手はごとくのツメと同じ向きに置いて機器手前にはみ出さないようにし、中華鍋などの丸底鍋は取っ手を持って調理するなど、安定した状態で使用してください。



■ 陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用する

異常過熱による機器損傷の原因になります。



■ トッププレートのしる受け部・バーナーキャップは正しくセットする

バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込むなど火災や機器焼損の原因になります。



お願い

コンロのご使用は

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
- 火力を弱火にしたときは、消し忘れに注意してください。
- ガス栓を操作して火を消さないでください。やけどや思わぬ事故の原因になります。
- トッププレート上や近くで、IH ジャー炊飯器、卓上型IH クッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。
- 調理中に鍋をのせかえるときは、いったん火を消してください。
- 強火で長時間使用すると土鍋やホーローなど、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。長時間使用した後に鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。ごとくがくっついた場合は、すみやかに元の位置に戻し、機器が冷めてから鍋をゆするなどしてごとくをはずしてください。くっついたまま動かすと、不意にごとくが落下することがあり、やけどやけが、機器損傷のおそれがあります。
- 煮こぼれに注意し、火力を調節してください。煮こぼれすると機器内部が汚れます。また、トッププレート・ごとく・バーナーなどに煮こぼれが焼きついたりして、機器を傷めるおそれがあります。
- 熱くなった鍋などをトッププレートのラベルの上に直接置かないでください。ラベルが熱で変色したり、損傷したりすることがあります。



突沸現象について

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などを煮たり温めたりするときは、突沸に注意してください。

突沸現象とは？

突然に沸とうする現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときにささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけが、機器損傷のおそれがあります。

予防方法

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは、弱火でかき混ぜながら加熱してください。（強火で急に加熱しない）
- 熱い汁物に、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行ってください。
- 鍋の大きさにあった火力で加熱してください。

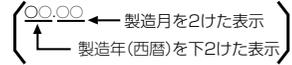
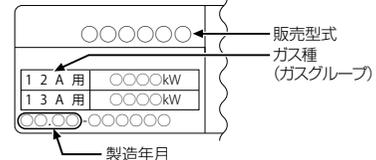


機器の設置

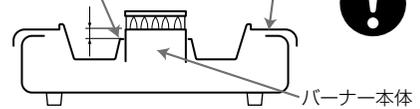
●設置前の準備と確認

- 販売型式、ガス種、製造年月は機器背面の銘板に表示してあります。
- 機器の銘板のガス種（ガスグループ）と使用ガスが合っているか確認します。
- 輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。
- トッププレートの上のしる受け部の上面が、バーナー本体より下になっていることを確認してください。

〈例〉12A・13Aの場合



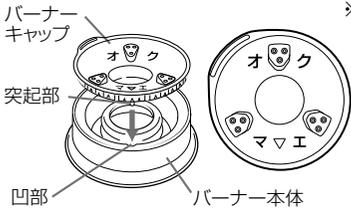
しる受け部の上面がバーナー本体より下になっていること



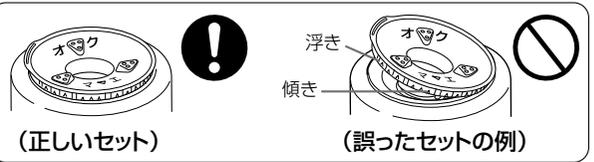
●部品の取り付け

●バーナーキャップ

「マ▽エ」刻印を手前にしてバーナーキャップの突起物をバーナー本体の凹部に正しくはめ込み、必ず正常に燃焼していることを確認してください。



※バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていると点火不良や炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。

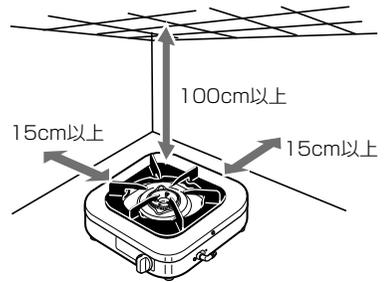


お願い

バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり、変形して炎が不ぞろいになった場合は、交換が必要です。お買い上げの販売店へご相談ください。

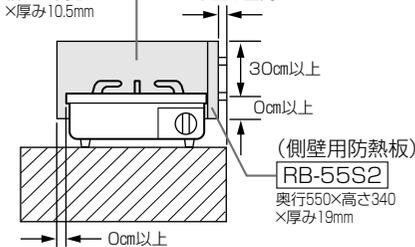
●設置場所

- 強い風の吹き込まない場所・丈夫で水平な場所
- 付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- 機器の上に湯沸器のない場所
- 機器を使用した場合ガス栓が加熱されない場所
- 落下物の危険のない場所
- 機器の上に樹脂製の照明器具のない場所
- 周囲に可燃物（木製の壁・モルタル、タイル、ステンレスなどを貼り付けた壁・棚など）のある場合
 - ・トッププレートより上面の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す。
 - ・上記の距離がたもてない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けて設置する。



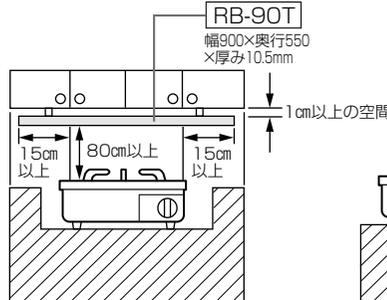
(後壁用防熱板)

RB-60B2
幅600×高さ340
×厚み10.5mm



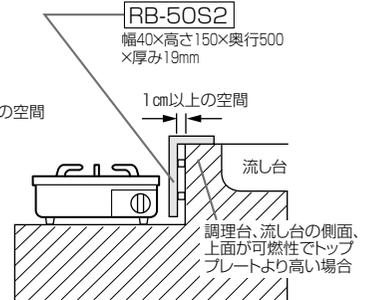
(天井用防熱板)

RB-90T
幅900×奥行550
×厚み10.5mm



(流し台・調理台用防熱板)

RB-50S2
幅400×高さ150×奥行500
×厚み19mm



お願い

- 防熱板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。



熱に弱い食卓テーブル（うるし、塗装など）の上でご使用の際は、不燃性の断熱材を敷いてください。

使いかた

1. 準備

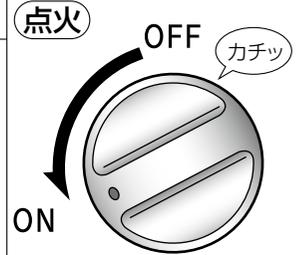
器具栓つまみが「OFF」の位置にあることを確かめ、ガス栓を全開にしてください。

2. 点火

器具栓つまみを奥までしっかり押し込みながら、「ON」の方向へ回しきる。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間（安全装置が動くまで）そのままの位置で保持します。

お願い

必ず手を離しても、点火していることを確認してください。
器具栓つまみを最後までしっかり押し回さないと、火が消える場合があります。



⚠️ 注意

■万一、点火しないときは器具栓つまみを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。

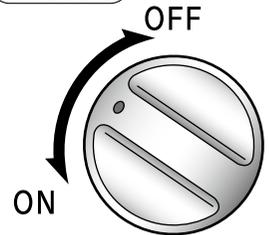
3. 火力調節

器具栓つまみを回し火力調節する。

お願い

バーナーを弱火にしたとき、バーナーキャップの中央に近い丸穴から出ている火が消えることがあります。異常ではありません。

火力調節



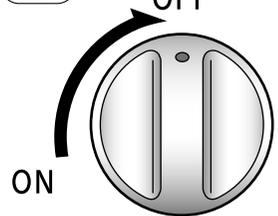
4. 消火

器具栓つまみを「OFF」の位置まで確実に回し、消火したことを確認する。

お願い

- ・幼いお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、機器から離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉めてください。
- ・バーナーは消火時にポンという音がする場合がありますが、これは火が消えた時の音で異常ではありません。（バーナーに風が当たるような場合は、ポンという音がしやすくなります。）

消火



立消え安全装置について

●立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

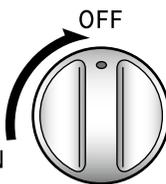
●立消え安全装置が作動したら…

使用中、火が消えたときは？

すぐに器具栓つまみを「OFF」の位置にし、消火の状態にしてください。

再点火するときは？

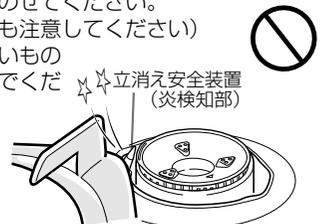
周囲にガスがなくなるまでしばらく待って、炎検知部の汚れをふきとってからご使用ください。



お願い

- 立消え安全装置（炎検知部）に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。鍋の底についた水滴はふきとってから、ごとくの上ののせてください。（煮こぼれにも注意してください）

- 炎検知部に固いものをぶつけないでください。立消え安全装置（炎検知部）をぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなります。



日常の点検とお手入れのしかた

日常の点検

- 機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか。
- バーナーキャップ、ごとくなどは正しくセットされていますか。
- ゴム管の接続は確実ですか。
- ゴム管は傷んでいませんか。
- 立消え安全装置（炎検知部）が汚れていませんか。
- バーナーの炎口が煮汁などでつまっていませんか。

・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期整備（有料）をおすすめします。
※定期整備については、お買い上げの販売店、または当社お客様センターにお問い合わせください。

- 点検・お手入れの前には、必ずガス栓を閉めて機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。また、各 부품の突起物には注意し、強く当たらないよう気を付けてください。けがをすることがあります。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。
- お手入れ時は、バーナーキャップ・ごとく・トッププレートは取りはずせません。それ以外の部品は絶対に取りはずさないでください。
・取りはずした部品は「機器の設置」を参照して取り付けてください。

お手入れ

お願い

- アルカリ性洗剤を使用しますと機器の塗装がはがれることがありますので使用しないでください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、当社お客様センターに連絡してラベルを購入し、貼り替えてください。

トッププレート

- 表面が汚れたら、そのつどぬれふきんでふきとります。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤で汚れた部分を湿らせておき、しばらくしてからスポンジたわしや布などでふきとります。

お願い

トッププレートのねじを取りはずし、お手入れされた場合、取り付け時は四隅をしっかりと押さえつけ、ねじを2箇所締め付けて確実に取り付けてください。

注意

■ トッププレートが確実に取り付けられているか確認する

確実に取り付けられていないと、バーナーの炎がしる受け部の下にもぐり込み、火災や機器焼損の原因になります。



立消え安全装置

- 煮こぼれなどの汚れは布でふきとる。
- 汚れのひどい場合は歯ブラシなどの柔らかいブラシで掃除してください。



機器本体・ごとく

- 中性洗剤（食器野菜洗い用）で汚れを落とし乾いた布で水気を十分ふきとります。

バーナーキャップ

水洗いする

（煮こぼれで目づまりしたり汚れがひどい場合は、ブラシまたはキリ状のもの（はり金など）で掃除する）



お願い

- 固いブラシでは決してみがかないでください。（故障の原因）
- 水気は必ずふきとってください。

警告

■ 機器ごと丸洗いしない

丸洗いされた場合、バーナー本体から水が入りガスの通路を妨げ、異常燃焼を引き起こし火災の原因になります。



お願い

- 水洗いした後、必ず水気をとってください。（異常燃焼の原因）
- 取り付け後、正常に燃焼するか確認してください。
- バーナーキャップ、ごとくは消耗部品です。バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形して炎がふぞろいになった場合は、交換してください。交換部品をお求めの場合は「ご利用の機器本体品名」をご確認のうえ、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト Rinnai Style または、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 当社のインターネット販売サイト Rinnai Style では、交換部品などを幅広く取り扱っております。本製品の交換部品は、お客様自身でお取り替えできる部品が対象です。
Rinnai Style (リンナイスタイル) <https://www.rinnai-style.jp/>

故障かな?と思ったら



警告

■使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する

あわてずガス栓を閉めてください。



調べてみると故障でない場合がよくあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

現象	原因	処置
・点火しない ・点火しにくい ・点火してもすぐ消える	ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。
	LPガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。
	バーナーキャップの取り付け不良	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。
	アルミはく製する受け皿を使用している	アルミはく製する受け皿を使用しないでください。
	器具栓つまみの押し回し不足	器具栓つまみを奥までしっかり押し込みながら、「ON」の方向へ回しきってください。 器具栓つまみを最後までしっかり押し回さないと、火が消える場合があります。
	バーナーキャップの炎口部が水滴でふさがっている	炎口部の水滴をふきとってください。
	立消え安全装置（炎検知部）がぬれたり、汚れたりしている	立消え安全装置（炎検知部）のお手入れをしてください。
・炎が安定しない ・異常音をたてて燃える ・鍋にススが付着する ・使用中、炎が消える	ゴム管の中に空気が残っている	点火操作を繰り返してください。 ※はじめての場合は点火するまでしばらく時間がかかります。
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。
	バーナーキャップの取り付け不良	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。
・ガスのにおいがする	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。
	立消え安全装置（炎検知部）がぬれたり、汚れたりしている	立消え安全装置（炎検知部）のお手入れをしてください。
	ゴム管がひび割れたり、穴があいている	ガス栓を閉め、新しいゴム管と交換してください。
	ゴム管が確実に接続されていない	ゴム管を確実に接続してください。

なお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い上げの販売店、または当社お客様センターにご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

こんなときは異常ではありません

点火しにくい	朝一番で使用するときはやがはじめて使用するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。点火操作を繰り返してください。
点火・消火の時、音がる	点火時・消火時に「ボン」という音がるがありますが、これは点火音、消火音で異常ではありません。（消火時にはしばらくしてから音がる場合もあります。）
炎が赤い	加湿器を使用している場合は水分中のカルシウムにより炎が赤くなる場合があります。
炎が均一でない	バーナーの炎は、立消え安全装置（炎検知部）、ごとく部分などで炎が短くなっています。異常ではありません。
使用中「シャー」という音がる	燃焼に必要な空気が通過する音で、異常ではありません。
点火後や消火後にキシミ音がでる	加熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音です。
バーナー本体（ステンレス製）が変色する	炎の熱や煮こぼれにより、バーナー本体が変色することがありますが、使用上問題ありません。

長期間使用しない場合

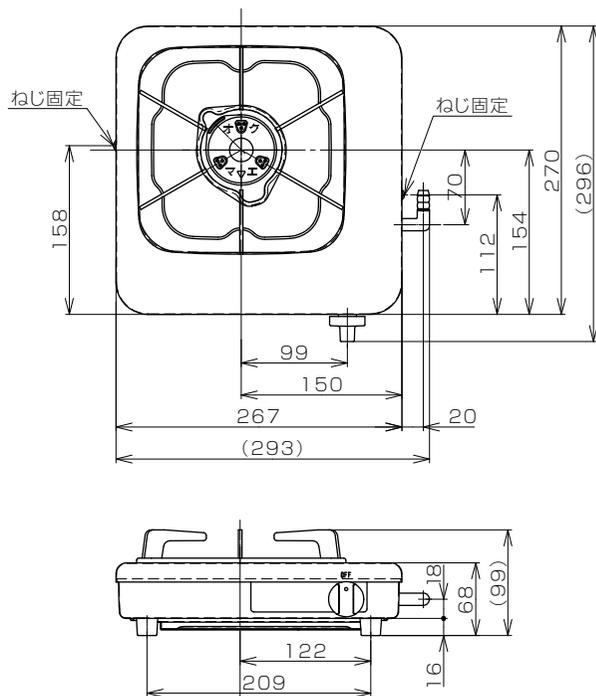
- お部屋のガス栓を必ず閉めてください。
- ほこりの侵入防止のため、ホースエンドにキャップなどをしてください。
- お手入れをしておくとお次回使用するとき便利です。

アフターサービス

修理を依頼されるときは	<p>「故障かな?と思ったら」をもう一度ご覧になって確認してください。それでも不具合のある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらずにお買い上げの販売店、または当社お客様センターへご相談ください。</p> <p>アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。</p> <p>(1) 製品名・ガス種類 (4) ご住所・お名前・電話番号・道順 (2) 販売型式（銘板表示のもの）及び品名 (5) 訪問ご希望日 (3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）</p>
保証について	<p>当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることをお約束します。（詳細は保証書をご覧ください。）保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。</p>
補修用性能部品の保有期間について	<p>補修用性能部品保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年間となっています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）</p>
転居されるとき	<p>ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。</p>
アフターサービスなどについてわからないとき	<p>お買い上げの販売店、または当社お客様センターにご連絡ください。</p> <p style="text-align: center;">お客様センター ☎0120-054-321</p>
お客様の個人情報の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。 ● 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

仕様／寸法図

種類	1口ガスコンロ	
品名	KG-12C RTE-10C RTS-1NDC	
型式の呼び	RTS-1NDA	
型式名	RTS-1NDA	
質量	1.8kg	
外形寸法	高さ99mm×幅293mm×奥行296mm	
安全装置	立消え安全装置	
点火方法	圧電点火方式	
付属品	取扱説明書(保証書付)	
ガス種 (ガスグループ)	ガス消費量	ガス接続
都市ガス用	12A	内径9.5mm ガス用ゴム管
	13A	
LPガス用	3.51kW	



1口ガスコンロ 保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことを
お約束するものです。本保証書の適用品名は10ページに記載してあります。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社お客様センター
にご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054-321
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの当社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
(ニ) 火災・水害・地震・落雷・その他の天災地変や公害・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
(ヘ) 本書の提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日・販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
(チ) 指定外の燃料の使用による故障および損傷。
(リ) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは10ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	扱者印
	ご住所		住所	
	お買い上げ日		年 月 日	

修理記録

年 月 日	修 理 内 容

お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、お買い上げ日・販売店名・扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052-361-8211

故障・修理・製品についてのお問い合わせ

■インターネットの場合

修理のお申し込み

お問い合わせ・サポート



■お電話の場合（お客様センター）

修理の受付：365日 24時間

お問い合わせ：平日 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
※年末年始は除く

フリーダイヤル 0120-054-321

携帯電話からは下記におかけください。（通話料が発生します。）

ナビダイヤル 0570-550-258

(工場管理)
1NDA-35A(00)
220700 ©
06000005173100

